

東光グループ 医療、スポーツなど狙う

遠赤外線放射の製品で

繊維専門商社の東光商事（大阪市西区）とそのアパレル子会社の東光リミィ（大阪府箕面市）が医療や健康、スポーツ分野への提案を強めている。主力商材はテラヘルツ人工鉱石による遠赤外線効果を活用した「テラックス・シリーズ」。既に冷感ハイジションの「テラックス・クール」が大手ゴルフグッズチェーンのPBシャツに採用されて

爆発的なヒットを記録したほか、AOKIの「オリヒカ」のスポーツにも採用されるなど広がりを見せている。

これまで冷感のテラックス・クール、温感のテラックス・ホットを販売し、実績を積んできた。このほど一般医療機器に認定されたテラックス・ケアテクトを加えてシリーズ全体の拡販に臨む。ケアテクトはホットの派生版

という位置付けで、より機能性を高めたもの。製品は、極薄タイプの「血行促進サポーター」、緩めに編んだ「筋肉痛神経痛緩和サポーター」、スポーツでの使用を想定した「筋肉疲労緩和サポーター」、胃腸の働き促進「腹巻き」、疲労回復アン



むくみや痛みを緩和するサポーターやウエアを販売

ショップ、スポーツジムなどを想定する。

販路開拓、協業先探しを目的に「医療と介護の総合展・東京」や「ウェアラブルEXPO」に出展して好評を博したほか、来年1月のドイツのスポーツ系展示会「イスボ」にも初出展する。イスボでは製品だけでなく、生地も展示訴求する。欧州連合（EU）、米国、中国、香港でテラックスの商標登録を出願し、社内同商材の輸出専任部署を設置するなど輸出拡大に向けた準備を進めている。欧州で認められたものを国内に持ち込んで扱

販に弾みをつける。ウェア効果を狙う。

テラックスはテラヘルツ人工鉱石を砕いたパウダーを繊維に特殊プリントするもの。遠赤外線放射によって血行促進などさまざまな効果が期待できる。東光リミィは遠赤外線協会の一員でもあり、同協会を通じた試験では、通常は「5%の遠赤外線放射率」で基準をクリアするが、同商材は10%弱の放射率が確認された。サポーターのモニター試験でも、痛みやむくみの緩和に効果があるとの声が多数報告されている。

販売は医療機器を扱う商社、バラエティショップ、百貨店、スポーツ